

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会



職人打ち立ての 新そばに笑顔があふれる



秋は味覚の季節ということで、むつみ荘でも秋を味わう催しが開催されました。11月11日委託会社LEOC様より職人による手打ちそばの提供が行われました。秋に収穫された新そばを使い、利用者に旬の味を楽しんでもいただきました。残念ながら今年はコロナウイルスの影響でそば打ちの実演はかないませんでしたが、みなさんに美味しいそばをお出したいという思いから、職人は一本一本のそばを丁寧に打っていました。茹で上がったそばは温かいそば・冷たいそばそれぞれの好み

に分けて提供されました。この日はそば以外にも天ぷらや茶碗蒸しなどの提供も行われました。「美味しい」「やっぱり打ち立てはちがうね」などと会話も弾み、利用者や職員は打ち立てのそばに舌つづみを打ち、各ユニットは和やかな雰囲気での食事会となりました。



←そば打ちをする
株式会社LEOC職員



一緒にそばを食べる利用者と職員



★お知らせ★

道内で新型コロナウイルスの感染が拡大し感染予防対策が強化されたことに伴い、現在当施設では入居者様への**面会並びに外出・外泊を禁止**とさせていただいております。尚、緊急を要する場合の面会については、職員にその旨お伝えください。面会の際は、検温を

行い37.5℃以下の方に限りマスクの着用+手指消毒の上面会とさせていただきます。ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

感染症拡大防止に
ご協力ください



待ちに待ったバイキング♪

～目移りが止まらない～

紅葉が綺麗な期間もあっという間に過ぎ去り、雪が舞い散る季節になった11月3日、特養にこやか・ほんわかユニット合同で昼食会とカラオケを行いました。昼食のメニューは唐揚げ・おいなり・サンドイッチ・焼きそば・かぼちゃプリン等を用意し、バイキング形式で好きなものを食べて頂くようにしました。利用者は大きなお皿に「これ食

べたい、あれも食べたい！」「これ美味しいわ！」と楽しそうに食事を選びおいしそうに食べられていました。カラオケには、ユニット職員や看護師も参加し大盛り上がりで、みなさん笑顔になっていました。「来年は、ご家族様も一緒に食事が出来ればいいね」と話しながら楽しい時間を過ごしました。



泊村公民館祭り作品展示

11月1日～11月3日に開催された泊村公民館まつりに特養の利用者が作品を出展しました。書道は毎日少しずつ書き溜めた作品の中から厳選した数枚を、生け花はむつみ荘周辺に自生している季節の草花や畑に残っていたお花を組み合わせて活けました。コロナ禍の家族に思いを寄せた短歌や、自然や季節の



移ろいを詠んだ短歌、レクリエーションで創作したリースなど数々の作品を展示していただきました。開催期間中ご家族様や村内外の知人の方々にご覧いただけたことと思います。これからも生活の中で詠んだ短歌や書などを書きため、来年は今年よりも素晴らしい作品を展示できるようがんばります。



秋の味覚を堪能



今年は家族会ができないため10月28日に、さわやか・おだやかユニットで合同の食事会を開催しました。職員がホットプレートで「鮭のちゃんちゃん焼き」を調理し、味噌が焼けた美味しい匂いに利用者は「いい匂いだね」と話されながら出来上がりを待っていました。その他に、きのこ入りの炊き込みご飯と栗入りの茶碗蒸しなど秋の味覚を「美味しいね」「良くできてるね」と褒めてもらい、担当した職員は嬉し

そうにしていました。食が細い方も食べられており、皆さん、満面の笑みで楽しい時間を過ごされました。



施設長雑感

山々を鮮やかに彩った紅葉が終わり、泊村にも初冠雪があるなど、本格的な冬の到来が感じられる季節となりました。

さて、本施設では、先月11日に(株)LEOC様のご協力をいただき、秋の代表的な味覚であります「新蕎麦」を堪能する「手打ちそばの日」を開催しました。しかしながら、昨今のコロナウイルス感染症禍中の折、今回は実演を取りやめユニット毎での食事会形式の実施となる等、残念な一面もありましたが、利用者様は新蕎麦の豊かな風味を感じながら、美味しくいただくことができた様子でした。改めまして、LEOC職員の皆様をはじめ、本イベントの企画立案及び当日の準備等に携わった職員の方々にお礼申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症」は本年1月28日に道内で感染者が発生して以降、最近では連日、感染者数が三桁を記録し、夜の街はもとより、医療機関や福祉施設、学校などがクラスターとなる等、その勢いは依然として止まることなく、先般、北海道においては警戒レベルがステージ3（札幌市に限ってはステージ4）に引き上げられたところです。このことから、本施設といたしましては、先月10日から再び、緊急時を除く面会・外出等の制限をさせていただくこととしました。つきましては、利用者様並びにご家族の皆様、関係機関の方々には、何かとご不自由をおかけするものと存じますが、感染症予

防対策の強化の趣旨に鑑み、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

師走となり本年も残すところ1か月となりました。何かと慌ただしい時期を迎えますが、本施設といたしましては、引き続き、「インフルエンザ」や「ノロウイルス感染症」、「コロナウイルス感染症」等の感染症予防対策に一層努めますとともに、例年どおりの実施には至らない可能性もあろうかと思われませんが、今月はクリスマスや年末の行事を通じて、利用者様に季節感を感じてもらえますよう、創意工夫しながら実施して参りたいと存じます。

終わりになりますが、引き続き、利用者様が本施設での生活を快適に過ごすことができますよう、職員一同、邁進していく所存でございますので、ご家族様並びに関係者の皆様におかれましては、今後とも施設の円滑な運営につきまして、ご支援方よろしくお願い申し上げます。

泊村老人ホームむつみ荘
施設長 高橋 英俊

